

ケイマン籍オープンエンド契約型外国投資信託(公募外国株式投資信託)

スーパーファンド・ジャパン サブファンド：トレンド

目論見書は
こちら



マネージドフューチャーズ戦略

他の資産との相関性の低さから 市場のリスクに備える。



私たちの考え方＝世代を超えた長期的な戦略

私たちは、永続的で『世代を超えた』投資戦略を提供することに情熱を注いでいます。人生100年時代を迎えましたが、どのような形で資産を次世代に移すかは重要なテーマです。

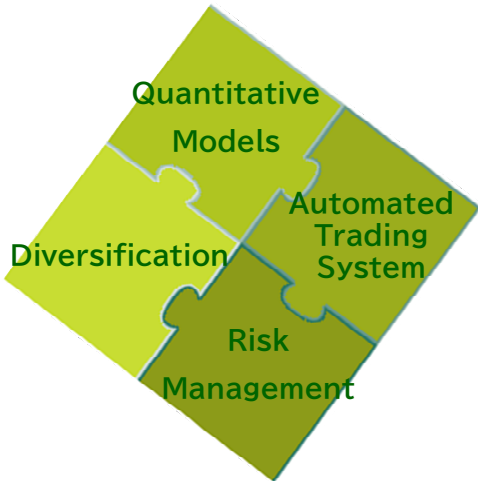
答えは、“音楽の都” ウィーンにあります

過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)などの詳細をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。

サブファンド:トレンドの概要

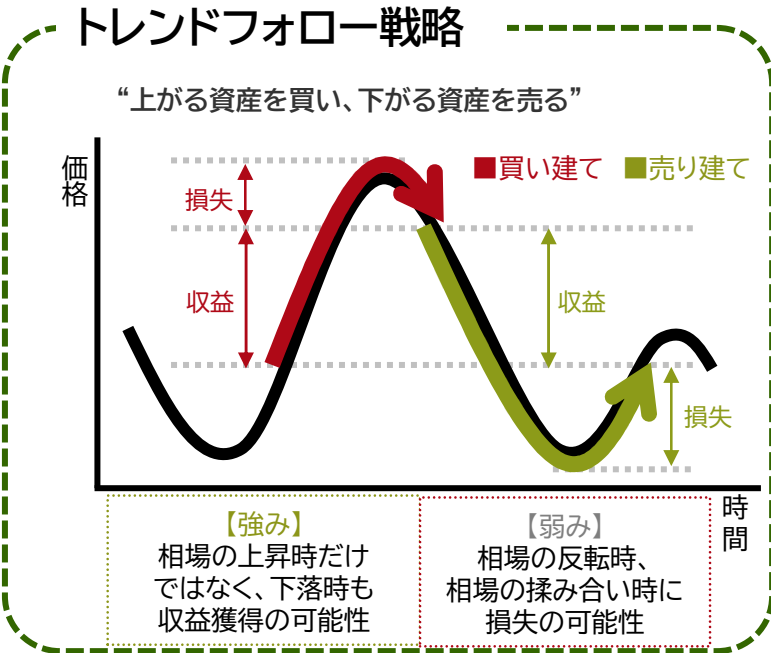
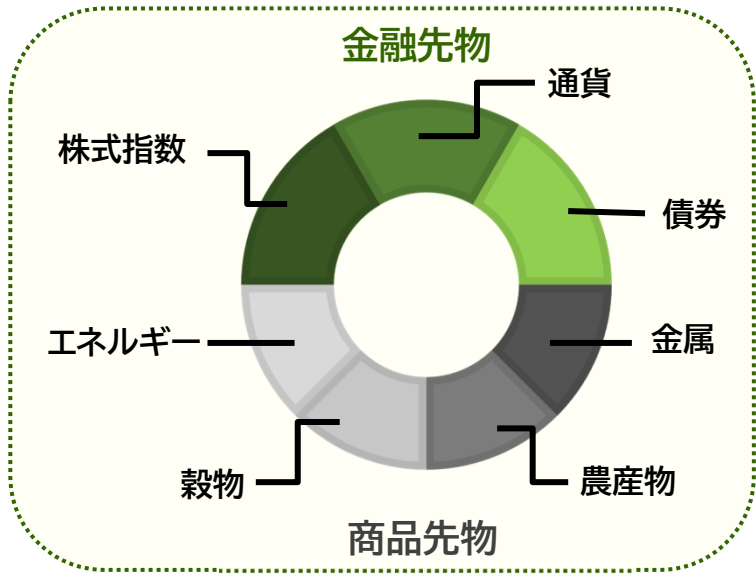
中長期トレンドフォロー戦略を中核としたマネージドフューチャーズ戦略
経済の不確実性に対応するヘッジファンドです。

マスターファンドは、中長期トレンドフォロー戦略を中核としたテクニカル分析に基づく、マネージドフューチャーズ戦略を採用しています。
マネージドフューチャーズ戦略は、金融先物と商品先物の双方への分散投資を行います。約150の流動性の高い金融先物及び商品先物を投資対象とします。



- 投資期間や投資対象などの多様性を重視
- スーパーファンドが独自開発した完全自動化トレーディングシステム
- 定量分析モデルによるトレーディング
- コンピューターにより常時マーケットを注視するリスクコントロール

世界中の約150の金融先物及び商品先物を投資対象として分散投資を行っています

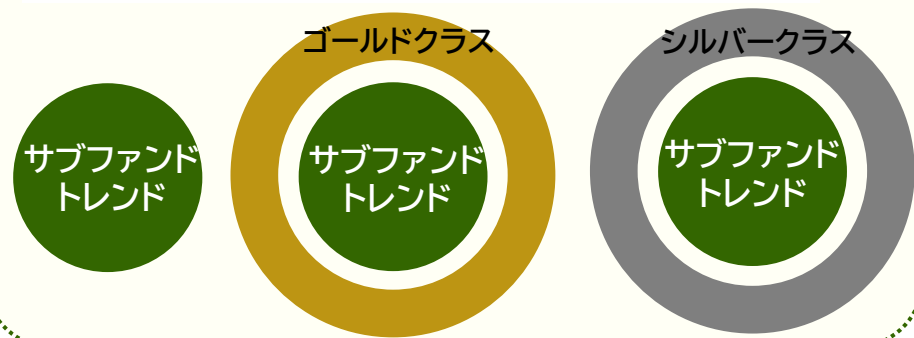


株式や債券などとの相関性が低い

	※スーパーファンド・グリーンQ-AG(クローズドファンド)
※スーパーファンド・グリーンQ-AG(クローズドファンド)	1.00
JPモルガン世界国際指数	0.21
MSCI世界株価指数	0.00
S&P500	-0.02
EURO STOCK 50	-0.01
日経225	-0.01

※スーパーファンド・グリーンQ-AG(クローズドファンド)は2025年3月で運用を終了しています。
上記は過去の実績値の表示であり、将来の結果を保証するものではありません。■出典:Superfund Tool

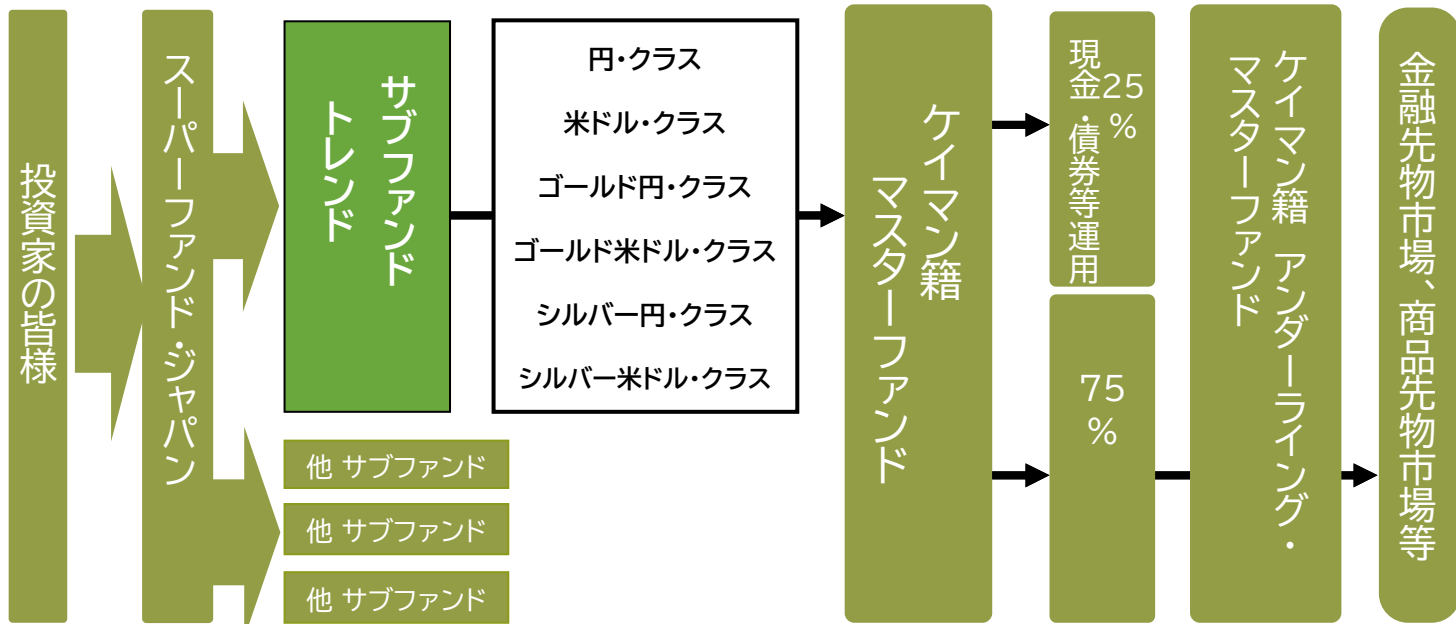
サブファンド・トレンドでは、金価格及び銀価格に連動するコースの選択が可能です。




過去の運用実績は将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)などの詳細をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断ください。



スーパーファンド・ジャパン:サブファンド トレンド 商品概要



スーパーファンド・ジャパン:サブファンド トレンド お申込メモ

ファンド名称	スーパーファンド・ジャパン サブファンド: トレンド			資料請求 はこちら 
形態	記名式無額面受益証券(オープン・エンド型)			
クラス	円・クラス、ゴールド円・クラス、シルバー円・クラス 米ドル・クラス、ゴールド米ドル・クラス、シルバー米ドル・クラス			
発行日	お申込時に発行価格で発行された受益証券は、最終的に、当該発行日に係る評価日現在における当該クラスの1口当たりの純資産価額により、当該評価日に発行されるものとなります。			
発行価格	各円・クラス(1口100円)、各米ドル・クラス(1口1米ドル)			
申込単位	最低投資口数 5,000口(各円・クラス500,000円、各米ドル・クラス5,000米ドル)以上、100口単位 但し、月末最終評価日のお申込においては、最低投資口数1,000口とする			
申込期間	2026年7月1日から2027年6月30日迄(申込期間は、有価証券届出書の提出により毎年更新されます)			
申込締切期日	各評価日(週次)の2ファンド営業日前まで			
購入代金	投資者は、各評価日(週次)の2ファンド営業日前までに申込金(申込手数料含む)をお支払いいただきます。			
申込評価日等 参考例	お申込締切日 X-2営業日	評価日 X	基準価額公表予定日	祝日等により、 日程が変更され ることがあります。 詳細はお問合せく ださい
	2026/7/2(木)	2026/7/7(火)	2026/7/23(木)	
	2026/7/10(金)	2026/7/14(火)	2026/7/29(水)	
	2026/7/16(木)	2026/7/21(火)	2026/8/5(水)	
	2026/7/29(水)	2026/7/31(金)	2026/8/18(火)	

■ サブファンド:トレンド (当ファンド)のレベルにおける手数料及び報酬等

申込手数料	申込金額に 3.30%(税抜3%) の申込手数料率を乗じた額		
買戻手数料	受益証券の買戻請求が当初の申込時から12ヶ月以内になされた場合または強制買戻しが当ファンドによってなされた場合、当ファンドより当該買戻しを請求された受益者に対して、管理会社の裁量により、換金(買戻)価額の 2% 相当の換金(買戻)手数料が課される場合があります。この場合、換金された手数料相当額は当ファンドの資産として留保されます。		
代行協会員報酬	純資産価額の年率 0.1%	事務管理報酬	サブファンドにつき年間約5,400米ドル
販売会社報酬	当ファンドのレベルでは課されません。	受託会社報酬	サブファンドにつき年間11,000米ドル

■ ケイマン籍マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドのレベルにおける手数料及び報酬等

管理報酬	純資産価額の年率 2.0%	販売会社報酬	純資産総額の年率 1.8%
事務管理報酬	スーパーファンド・トレンドSPC B:年間5,400米ドル、グリーン・ゴールドSPC B:年間5,700米ドル スーパーファンド・トレンド・マスター:最低毎月4,555米ドル以上 スーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPC:最低毎月2,960米ドル以上		
成功報酬	純資産価額の増加額のうち、 20% (但し、ハイウォーターマーク方式を適用)		

当ファンドにお申込みの際には、必ず目論見書などの詳細をご確認いただき、お客様ご自身でご判断ください。

重要事項/投資目的及びご投資にかかる主なリスクについて

外国籍公募投資信託：スーパーファンド・ジャパン サブファンド：トレンド(以下「当ファンド」)は、価格変動性を伴う金融商品です。当ファンドは、マスターファンド(及びアンダーライニング・マスターファンド)への投資を通じて、実質的には中長期トレンドフォロー戦略を中核とした複数のテクニカル分析に基づくマネージドフューチャーズ戦略を採用されます。マネージドフューチャーズ戦略は、金融先物と商品先物双方への分散投資を行い、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用され、これらの価格変動等により、当ファンドの1口当たりの純資産価額が投資元本を割り込む場合があります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資家(受益権者)の皆様に帰属します。投資信託は金融機関の預金と異なり、預金保険の対象ではありません。

当ファンドは、すべての利用可能な資産を、マスターファンドの対応する分別ポートフォリオ(サブファンド)の株式に投資します。続いて、トレンドのマスターファンドの各分別ポートフォリオはその資産の一部、それぞれその資産の約75%をアンダーライニング・マスターファンドの株式に投資します。トレンドが投資するマスターファンドの各分別ポートフォリオに保有される資産のうちアンダーライニング・マスターファンドに投資されていない残額は、債券、現預金、金現物、先物及びその他の有価証券等に投資されます。サブファンドであるトレンドのマスターファンドの目的及び各アンダーライニング・マスターファンドの目的は、株式及び固定利付証券市場の動向から独立した投資形態をそれぞれの投資家に提供することであり、株式及び固定利付証券市場との相関関係が低く、通貨とは無関係の、金先物及び金現物に連動する投資を通じて、長期的な資本増価による平均以上の収益の確保も期待されるものです。アンダーライニング・マスターファンドは、上記の目的を達成するため、マスターファンドの投資顧問会社でもあるマスターファンド投資顧問会社が随時選定するテクニカル分析ソフトウェアを使用したトレーディング・シグナルを導入しています。かかるソフトウェアは、マスターファンド投資顧問会社により管理されます。スーパーファンド・トレンド・マスター及びスーパーファンド・グリーン・ゴールド・マスターSPCは、中長期トレンドフォロー戦略を中核とした複数のテクニカル分析に基づくマネージドフューチャーズ戦略を採用します。マネージドフューチャーズ戦略は、金融先物と商品先物双方への分散投資を行い、スーパーファンドにより独自開発されたコンピューターによる完全自動化トレーディングシステムにより運用されます。マスターファンド及びアンダーライニング・マスターファンドは、投資機会を活かし、最新のトレーディング戦略を利用する予定ですので、将来の運用について、現時点で既定されたものはなく、またいかなる制限を受けるものでもありません。

主なリスク

- **価格変動リスク**: 様々な要因による株式市場及び株式個別銘柄の変動を受けて、当ファンドの純資産価額は短期的または長期的に大きく下落し損失が生じるおそれがあります。特に、いわゆるIT分野に対するマーケット環境や暗号通貨の価格変動を要因として、純資産価額の大きな変動が起こる可能性があります。
- **金利リスク**: 金利の下落により受け取る金利収入が減少、また、金利の上昇により保有する公社債の価格が下落する可能性があり、このような金利変動の影響を受けて純資産価額が下落し、損失が生じるおそれがあります。
- **信用リスク**: 組入公社債の発行体等の経営・財務状況の変化等により、利金を支払えなくなったり、償還が予定通りに行われなかったりすることで、純資産価額に損失が生じるおそれがあります。
- **為替リスク**: 当ファンドのサブファンドは円建て及び米ドル建てです。また、円もしくは米ドル以外の外貨建資産に投資する場合もあり、当該外貨の為替レートの変動により基準価額が下落し、投資元本を割込むことがあります。
- **その他のリスク**: 市場及び経済状況の悪化、又は税金その他の法令若しくは会計基準の不利な変更は、当ファンドの投資並びに受益証券を所有することによる価値及びその結果に悪影響を及ぼすことがある。

本資料は、代行協会員が作成したものであり、金融商品取引法に基づく法定の開示資料ではありません。本資料に記載されている情報は、信頼性が高い情報源よりまとめられたものですが、情報に関する正確性、完全性、信頼性を保証するものではなく、将来の運用成果、市場環境の変動等を保証するものでもありません。また、シミュレーション結果による指数は分析時の見解に基づいたものであり、これらの指数が変更されても本資料を再発行する義務はありません。本資料に記載されている情報等の利用により生じた損害等に対し、当社は一切責任を負いません。当ファンドのお申込みをご検討の際には、必ず目論見書などの詳細をご確認いただき、お客様ご自身でご判断ください。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求 又は その他お問い合わせ先

代行協会員兼販売会社
スーパーファンド・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第98号
日本証券業協会会員
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番1号
虎ノ門ヒルズ 江戸見坂テラス11階



又は、スーパーファンド・ジャパン株式会社を所属証券会社とする金融商品仲介業者へお問い合わせください。